

2023年7月26日

名古屋港コンテナターミナルご利用者様各位

名古屋港運協会
名古屋コンテナ委員会
ターミナル部会

NUTS システム障害の経緯報告

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて2023年7月4日06:30頃よりNUTS（名古屋港統一ターミナルシステム）に障害が発生し、名古屋港全ターミナルの作業停止を余儀なくされました。障害の要因につきましては、愛知県警察本部及びシステム保守会社の見解より、ランサムウェアへの感染と判明しております。

ターミナル関係者が総力をあげて復旧に取り組み、7月6日18:15に全ターミナルで作業を再開するに至りました。

お客様・お取引先様をはじめとする名古屋港コンテナターミナルをご利用の皆様からのご協力に深く感謝申し上げますとともに、これまでの経緯と今後の対応方針について下記の通りご報告致します。何卒ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 障害発生から復旧までの経緯

【7月4日（火）】

- 06:30頃 NUTS システムの作動が停止したことを確認する。
- 07:15頃 状況確認後、システム保守会社及びシステム開発会社へ復旧作業を依頼する。
- 07:30頃 システム専用のプリンターからランサムウェアの脅迫文書が印刷される。
- 08:15頃 サーバーが再起動できないことが判明する。
- 09:00頃 愛知県警察本部サイバー攻撃対策隊（以下「愛知県警」という。）に通報。状況確認後、ランサムウェアに感染した可能性があるとの見解が示される。
- 14:00頃 物理サーバー基盤及び全仮想サーバーが暗号化されていることが判明する。
- 18:00頃 ランサムウェアに感染の可能性が高まったことから、愛知県警と今後の対応について協議を行った。

【7月5日（水）】

- 07:00頃 システム復旧の進捗より、ターミナル作業再開目標を7月6日08:30とした。
- 12:00頃 名古屋港運協会よりプレス発表
内容) ランサムウェアへの感染であることが判明した

7月5日 18:00を目処にシステム復旧を図る

7月6日 08:30からの作業再開を目指す

21:00頃 バックアップデータからウイルスが検知され、ウイルス駆除を開始することとなり、システム復旧が翌日になることが確実となった。

【7月6日（木）】

07:15頃 バックアップデータの復元が完了。しかし、システムのネットワーク上に障害が発生する。

14:15頃 ネットワーク障害が解消し、バックアップデータとヤード在庫の整合性を確認。
準備が整ったターミナルより順次作業を再開することとした。

<各ターミナル再開情報>

15:00 飛島ふ頭南側コンテナターミナル (TCB) 作業再開

16:30 鍋田ふ頭コンテナターミナル (NUCT) バンプール作業再開

17:00 NUTS WEB 稼働再開

17:20 鍋田ふ頭コンテナターミナル (NUCT) CY 作業再開

18:15 NCB、飛島ふ頭北、飛島ふ頭南コンテナターミナル作業再開

2. 現段階で判明している状況 :

本件についてリモート接続機器の脆弱性が確認されており、そこから不正なアクセスを受けたと考えられます。なお、詳細については現在調査中です。

また、データセンター内にある NUTS の全サーバーが暗号化されたことを確認しております。

3. 脅迫文への対応 :

脅迫文に身代金額の記載はなく、攻撃者への連絡も行っておりません。

4. 情報流出について :

システム保守会社の協力のもと、侵入経路や情報漏洩の可能性を含め調査を行ったところ、現時点において外部への情報漏洩の形跡は確認されておりません。

引き続き、情報流出の可能性について調査を継続し、企業情報及び個人情報漏洩の事実が確認された場合は、速やかにお知らせいたします。

5. 今後の対応方針 :

今回の復旧過程において、システム保守会社及びシステム開発会社の支援を受けてリモート接続機器やサーバー等への不正アクセス防止の拡大強化を図るとともにシステム内のログ情報やバックアップを更に充実させ、より高度なセキュリティ対策の実現を目指して対応を進めてまいります。

結びに、ご迷惑ならびにご心配をおかけした皆様には改めてお詫び申し上げます。今後は、名古屋港の信頼性を向上させるべく関係者一丸となって取り組みを進める所存です。引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。

以上